

## 「車両美観の維持と 働き方改革を両立」

-磨き作業を減らし、現場の負担を軽減-



### 安全・安心と美観を支える 日々の車両管理

中央交通株式会社は、一般貸切を中心とする観光バス事業を展開し、観光ツアーのほか、学生の社会科見学や林間学校など、幅広い運行を手がけています。現在は大型・中型を合わせて53両を保有し、多様な目的や運行内容に対応しています。

車両は、お客様が乗車する前から目にするものであり、会社の第一印象を大きく左右する存在です。同社では、車両の清潔感を人の身だしなみと同じように捉え、ホイールを含む足回りまで美しく整えることを重視してきました。こうした美観を保つ丁寧な車両管理が、安全・安心とサービスへの信頼を支えています。

### 美観を維持するための時間と労力

Dura-Bright®ホイール導入前、同社で使用していたアルミホイールの美観を保っていたのは、ドライバーによる日々の洗浄作業でした。しかし、現場では、夏の炎天下や冬の寒さの中での作業など、身体への負荷がかかりやすい環境に加え、磨きの手間や時間の制約も重なり、手入に伴う負担が生じていました。

#### 《現場が抱えていた3つの負担》



#### ① 厳しい環境での屋外作業

暑さや寒さの厳しい時期にも日々の手入れが必要



#### ② 手間のかかる磨き作業

研磨剤や道具を使い分け、凹凸や奥まった部分まで仕上げが必要



#### ③ 限られた時間での対応

車庫で時間を確保できず、運行先の待機中に作業することも

こうした3つの負担を抱えながら、ドライバーは運行後の車両を次の業務までに整え、一台ずつ足回りまで手入れしていました。車両美観への意識が高いからこそ、限られた時間の中でも仕上がりを妥協せず、車庫で十分な作業時間を確保できない日には、運行先での待機中にホイールを磨くこともありました。

ドライバーの努力によって車両の美しさが保たれる一方、会社としては、安全運行に備えるためにも、待機時間はできるだけ休息に充ててほしいという思いがありました。美観の維持をドライバー個々の努力だけに委ねるのではなく、日常業務の中で無理なく続けられるメンテナンス方法へ変えていく必要がありました。

### 働き方改革の一環として導入を決定

転機となったのは、2025年9月の新車導入でした。南関東日野自動車の営業担当者から、「磨かなくてもよいアルミホイール」としてDura-Brightホイールの提案を受け、同社は、ドライバーのメンテナンス負担を軽減し、働き方改革につなげられる新たな選択肢として関心を持ちました。ホイールを単なる装備としてではなく、納車後の維持管理にも関わる要素として捉え、これまで大切にしてきた車両美観と現場の働きやすさを両立できるかという視点から、導入を検討しました。

導入前には、「本当に磨かなくても輝きを維持できるのか」という懸念がありました。車両を5年、10年と使うことを前提に、長期間使用した場合にも美観を保てるかという点を重視していました。

まずは2025年9月に中型車3台へDura-Brightホイールを採用し、実際の運用を通じて使用感を確認したうえで、2026年2月には大型車4台にも導入しました。以降の新車にも採用しています。

## 現場が実感した、ホイール清掃の変化

従来のアルミホイールは、輝きを保つために1本ずつ丁寧に磨き上げる必要がありました。大型バスのホイールは表面積が大きく、凹凸や奥まった部分も多いため、ブラシやスポンジを使い分けて細部まで手入れするには、相応の時間と労力がかかります。4本すべてを磨くと、場合によっては1日がかかりになることもありました。

また、洗車後に水気を拭き取っても、車両を移動させると細部から再び水滴が出ることがありました。放置するとウォータースポットが目立つため、もう一度拭き上げる必要があり、仕上げにも手間がかかっていました。

### 《ホイール清掃の Before / After》

|      | Before                          | After                        |
|------|---------------------------------|------------------------------|
| 清掃方法 | 複数の研磨剤や道具を使い分けて磨き上げ             | 研磨作業が不要になり<br>水洗い〜拭き上げを中心に対応 |
| 作業時間 | 1本あたり約1時間<br>4本磨くと休憩を挟みながら1日かかり | 1本あたり約5分<br>作業時間を大幅に短縮       |
| 作業負担 | 暑さ・寒さの中で<br>研磨や拭き上げが必要          | 磨き工程が無くなり<br>身体的な負担を軽減       |

Dura-Brightホイールの導入後は、従来のように研磨剤で何度も磨いたり、繰り返し拭き上げたりする工程が無くなりました。日常の洗車の中で手入れを終えやすくなり、ホイールメンテナンスにかかる手間を抑えられるようになっています。

まとまった時間を要する磨き作業が無くなり、作業時間も大幅に短縮されました。従来はホイール1本を磨くのに1時間程度かかっていましたが、導入後は水洗いから拭き上げまで1本あたり5分程度で手入れを終えられるようになっています。



Dura-Brightホイール装着車の清掃の様子

日常の洗車の中で、水洗いを中心にホイールを手入れ

これまでホイールの仕上げに費やしていた時間を抑えられるようになり、その分、ドライバーが本来の運行業務に取り組みやすくなっています。

また、ホイール磨きは季節を問わず必要な作業で、中でも夏の暑さや冬の寒さの中での作業は、身体への負担も大きいものでした。磨き工程が無くなったことで、こうした作業時の身体的な負担に加え、作業後の疲労も軽減されています。

こうした変化は、ドライバーからも高く評価されています。「日頃の洗車が楽になった」「磨く時間を省けて身体が楽になった」といった声が上がっており、日常の業務の中で導入のメリットが実感されています。

## 輝きの維持が、お客様からの評価にもつながる

Dura-Brightホイール導入から約半年が経過した時点では、冬を越えた車両でもホイールの輝きが維持されており、実際の車両を通じてその効果を確認できています。

磨き作業に頼らず、日常の手入れの中で輝きを保ちやすいことは、車両美観を重視してきた同社にとって大きな評価ポイントです。導入前には長期間にわたり美観を保てるか懸念もありましたが、現時点では、足元の美しさが続いていることに手応えを感じています。



冬を越えた後も、  
しっかりと輝きが維持。  
導入の効果を実感しています。

野口 雄三氏  
中央交通株式会社 代表取締役

足元まで美しく整えられた状態を保つことは、ホイールだけでなく車両全体の清潔な印象にもつながります。実際に、車両を見たお客様から、「綺麗にされていますね」と声をかけられたこともありました。車両の清潔感、外観の美しさだけでなく、日頃から丁寧に車両を管理し、安全・安心を大切にしている会社という印象にもつながります。

同社では、清掃の手間を抑えながら車両の美観を保ちやすくなったことを、Dura-Brightホイールの重要な導入効果として評価しています。観光バスに求められる清潔感を維持し、会社の第一印象や信頼感につなげられる点にも価値を感じています。

## 観光バスの課題に応える 新たな選択肢として



南関東日野自動車株式会社  
フリートセールス部 馬田氏

中央交通株式会社への導入を提案した南関東日野自動車では、Dura-Bright ホイールの価値を、外観だけでなく、納車後の維持管理まで含めて評価しています。観光バス業界では、車両の美観がサービスの印象に関わる一方、洗車や磨き作業をドライバーが担うことも少なくありません。連日の運行によって洗浄・

メンテナンス時間を確保しにくい事業者にとって、ホイールの手入れのしやすさは、現場の負担軽減に直結します。また、1台の車両を複数のドライバーが使用する事業者にとっても、日常の手入れを簡略化しながら一定の美観を維持しやすい点は、導入メリットの一つです。

## 時間とコストから見る 長期的な導入価値

ホイールの選定では、観光バスの運用における作業負担の軽減に加え、導入後にかかる時間やコストまで含めて、費用対効果を考えることが重要です。南関東日野自動車では、導入時の費用だけで判断せず、磨き作業にかかる時間や、研磨剤・クリーナーなどの消耗品費まで含めて総合的に判断する必要があると説明しています。

中央交通株式会社では、Dura-Brightホイールの導入後、従来の磨き作業で使用していた研磨剤が不要になりました。研磨剤の購入費を抑えられることに加え、メン

テナンスの工程も減ったため、維持管理にかかる時間とコストの双方が削減されていくと感じています。

さらに、観光・貸切バス事業者にとっては、日々の管理負担だけでなく、長期にわたり美観を維持しやすいかどうかも重要な判断材料です。導入直後の効果にとどまらず、使用を重ねた後の状態まで見据えて評価することが、実際の運用に即したホイール選びにつながります。

## メンテナンス性を これからの車両づくりの視点に

中央交通株式会社では、試験導入した車両を日常の運行に使用し、実際に使い勝手を検証してきました。運行を重ねた後も輝きが保たれ、その効果がしっかり実感されたことが、社内での高い評価につながっています。こうした現場の声を踏まえ、今後導入する新車にも採用する方針です。

観光・貸切バス事業者にとって、車両の美しさを保ちながら、限られた時間の中でメンテナンスを行うことは、日々の運用に関わる課題の一つです。メンテナンス方法を工夫するだけでなく、車両仕様の段階から作業そのものを減らすことも、現場改善の有効な手段となります。Dura-Brightホイールは、メンテナンス負担を軽減する車両仕様として、車両の美しさと現場の働きやすさの両立を足元から支えます。

### 中央交通株式会社



中央交通株式会社は、埼玉県川口市を拠点に、観光旅行や団体向けのバスを運行する会社です。車両整備や乗務員教育、運行管理の各面から、安全で安心な移動を支えています。

## DURA-BRIGHT®ホイール

メンテナンスを簡略化  
洗うだけで輝く次世代ホイール



### DURA-BRIGHTの優位性： ALCOA® WHEELS独自の特殊加工

Dura-Brightの表面処理はアルミニウムに浸透し、ホイールの表面を形成することで防汚効果を長持ちさせます。



磨き作業の必要がなく、ホイールの美しさを長く維持。作業時間とコストを削減し持続可能な運用をサポート。



ハウメット・システムズ・ジャパン株式会社  
〒101-0052  
東京都千代田区神田小川町3-9-2 BIZCORE神保町8階  
TEL : 03-5281-8093 / 0120-39-1416  
www.alcoawheels.co.jp  
©2026 All Rights Reserved Howmet

